



# 警戒レベル Stage2! 新型コロナウイルス感染症

令和3年8月11日  
富山県感染症情報センター  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和3年第31週分・8月2日～8月8日)

### 《インフォメーション》

#### ●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、8月8日時点で1,031,296例となり、15,280例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数(図;折れ線グラフ)は首都圏だけではなく多くの地域で増加し、感染が急速に拡大しています。緊急事態宣言の期限は8月31日まで延長され、対象が6都府県に拡大されました。また、まん延防止等重点措置は8月8日から13道府県で実施されています。

県内の今週の新規感染者数は299例報告され

(図;棒グラフ)、8月8日時点の累積感染者数は2,621例になりました。8月5日から警戒レベルはステージ2へ引き上げられましたが、新規感染者数及び入院患者数はさらに増加していることから、県は8月10日に2回目の感染拡大特別警報を発出しました。県外での感染が疑われ、職場や家庭内で感染が広がった事例が複数認められています。更なる感染拡大を防ぐため、県境をまたぐ不要不急の移動は自粛し、感染拡大地域からの移動は慎重に検討しましょう。また、県内各市町村でワクチン接種が進んでいますが、接種後もこれまで通りの感染対策が必要です。

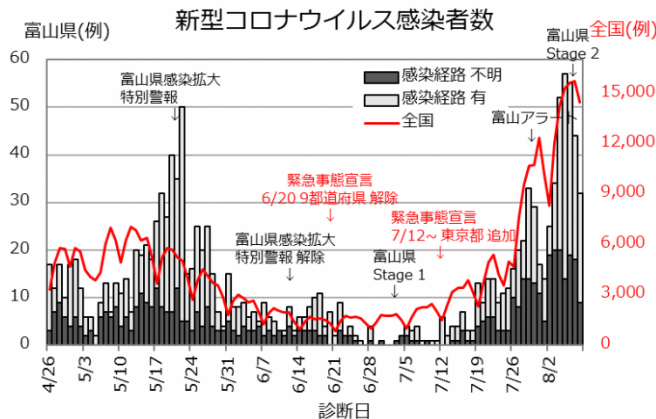
衛生研究所では、6月上旬から感染性が高いデルタ株を検出するためのL452R変異検査を実施しています。7月中のL452R変異検査では207例中73例(35.3%)が陽性でしたが、8月9日時点で100例中76例(76.0%)が陽性となり、アルファ株からデルタ株への置き換わりが進んでいます。また、7月にL452R変異が陽性となったもののうち、19例がゲノム解析によりデルタ株と判明しています。変異株に対しても、感染拡大を防ぐための手指消毒やマスク着用、十分な換気、対人距離を保つといった個人が取り組むべき感染対策は同じです。デルタ株による感染拡大を防ぐため、引き続き高い緊張感を持って行動していただくことが重要です。発熱等の症状で医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。

### 《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 299件
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件(60歳代、男性、0不明、VT2)
- 四類感染症 E型肝炎 1件(70歳代、男性)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	RSウイルス感染症	3.00(↑)	2.93
2位	ヘルパンギーナ	2.14(↑)	0.17
3位	感染性胃腸炎	1.83(↓)	2.45
4位	突発性発しん	0.28(↓)	0.34
5位	咽頭結膜熱	0.17(↓)	0.24
	水痘	0.17(↑)	0.07



○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第31週 令和3年8月2日～令和3年8月8日）

分類	疾患	今週報告分（第31週）						累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	28	11	104	36	113	7	299	171	156	568	154	947	45	2,041
二類感染症	結核								8	6	23	11	30		78
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症		1					1		1	5	1	2		9
四類感染症	E型肝炎	1						1	2				1		3
	A型肝炎								1						1
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症								1	3	8	1	5		18
五類感染症	アメーバ赤痢								1						1
	ウイルス性肝炎								2				1		3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	2	2		5
	急性脳炎										1		1		2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										3	1	2		6
	後天性免疫不全症候群								1				1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		2		10		13
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒								1	1	4		14		20
	播種性クリプトコックス症												2		2
	破傷風											1			1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5				5
	RSウイルス感染症	3	3	23	42	16		87	127	123	1,535	283	810		2,878
		0.75	1.00	2.88	10.50	1.60		3.00							
	咽頭結膜熱	1		1		3		5	32	36	132	6	138		344
		0.25		0.13		0.30		0.17							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4				4	60	37	432	81	205		815
				0.50				0.14							
	感染性胃腸炎	9	11	15	1	17		53	545	291	475	176	1,105		2,592
		2.25	3.67	1.88	0.25	1.70		1.83							
	水痘			2	1	2		5	1	6	26	8	31		72
				0.25	0.25	0.20		0.17							
	手足口病	1		2		1		4	7		12	1	12		32
		0.25		0.25		0.10		0.14							
	伝染性紅斑										1	7	1	19	28
	突発性発しん	2	1	3		2		8	42	24	107	44	95		312
		0.50	0.33	0.38		0.20		0.28							
ヘルパンギーナ	2		53	3	4		62	23	1	58	3	12		97	
	0.50		6.63	0.75	0.40		2.14								
流行性耳下腺炎								2	2	6	5	11		26	
流行性角結膜炎										1				1	
細菌性髄膜炎												2		2	
無菌性髄膜炎												2		2	
マイコプラズマ肺炎										1	7	1		9	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1						1	
インフルエンザによる入院患者（※2）											1	8		9	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週（8月31日）～の集計です。